

# まもりたい生態系

—持続的に生きるために—

## 生態バランスの崩壊

生態系は、動植物と太陽エネルギー、大気、水、土で構成されています。

光合成をして植物が育ち、その植物を草食動物が食べ、草食動物は肉食動物に食べられるといったような食物連鎖の関係を通して数量的なバランスが保たれており、バランスが持続的に保たれることで、わたしたちは生態系から豊かな恵みを受け取ることができます。しかし、

- ①人間の活動による乱獲や開発で、生物種が絶滅や生息地が減少したこと
- ②里山などへの人間の働きかけが減少したことにより、自然環境が変質したこと
- ③人間の活動で外来生物種が侵入したことによって、在来の生態系が攪乱されたこと
- ④気候変動（地球温暖化）が進んだこと

が要因となり、近年、生態系が荒らされ、絶滅に瀕する生き物が増え、数量的なバランスが崩れて、食料・木材・水・気候変動などの、生態系がわたしたちに供給する機能が世界中で低下するなど、生態系にさまざまな形で影響が表れてきています。

## 海洋プラスチック問題

便利で使いやすく、日常生活で欠かせない素材になっているプラスチックですが、海を汚染するだけでなく、生物にも深刻な影響を与えています。プラスチックごみの誤食や絡まりにより、被害を受ける海洋生物が増加しており、誤食した海洋生物を食べることで、マイクロプラスチックがわたしたちの体内に取り込まれるおそれも出てきています。

また、気候変動による海水温の変化により漁獲対象種の資源崩壊危機の問題も起きつつあります。

生態系レベルでも甚大な影響を及ぼし、このままの状況が続けば、持続的に海洋資源の恩恵を得ることができなくなるといわれています。

## 感染症問題

WHOは、新型コロナウイルスについて「動物が起源」と断定し、コウモリ由来のウイルスがセンザンコウなどを介して人に感染したとみています。

このような野生生物からの感染は、近年の自然破壊や気候変動により、野生生物が生活する場所を奪われ、エサを求めてヒトとの距離が縮まっていることにより生じています。

今後、気候変動が進むと、動物の生息域が北上し、熱帯性の感染症が世界に広がるおそれがあるほか、アルプス、北極などの永久凍土が融け、未知の有害な細菌やウイルスが発生し、近い将来、未曾有の大災害に人類が脅かされることが懸念されます。



## 地球にやさしい社会へ

地球上では、ヒトを含むいろいろな生き物が、密接に関係し合い、つながりを持ちながら、その場に特有の環境を形成し、持続的に生活しています。

皆さんはもとより、世界中の人びと一人ひとりが「あらゆる生き物と共存できる環境をつくること、わたしたちが持続的に生きる環境につながっている」ことを認識し、その責務を果たすため、生活スタイルや社会経済の仕組みを見直し、地球にやさしい社会への変革に取り組むときです。



執筆：環境省 環境カウンセラー 勝井明憲